

中部ペンクラブ

第75号
 発行所
中部ペンクラブ事務局
 〒464-0067 名古屋市千種区
 池下1-4-17 オクト王子ビル6階B室
 TEL(052)752-3033 F3011
 編集委員長：中村賢三
 製作：(株)総研

第3回

全国同人雑誌会議開催

中部ペンから27名が参加

全国の同人雑誌関係者が一堂に会する第3回全国同人雑誌会議が10月19日、池坊東京会館にて開催された。主催は文芸思潮・中部ペンクラブ。今回は文芸思潮の五十嵐勉さんの呼びかけにより、全国の同人雑誌から総員120名が集まり、中部ペンからは27名が参加。総合司会は中部ペンの

西穂梓さんで午後1時に開会した。冒頭の挨拶で三田村博史さんが「いまなぜ同人雑誌か」、五十嵐勉さんが「活字文化の危機と同人雑誌の役割」を熱く訴えた。

基調講演は作家で日本文藝家協会副理事長の三田誠広さんが「文学の理念と文芸ジャーナリズム」で西洋の文学の起源から、日本の源氏物語や漢文から口語体による文学の系譜を分かりやすく解き明かし、現代の文芸界が抱える問題点まで鋭く切り込んだ。

基調スピーチでは、昨年中部ペンで講演した中上紀さんが「まほろば賞」の全国同人雑誌最優秀賞の作品を高く評価し、中央での文学賞と並んで決してひけを取らない作品群であったと。作家・飯田章さんは同人雑誌「文芸首都」に関わり日本文学を支え発展させた作家の群像をエピソードを交えて語った。

第2部の「シンポジウム&同人諸家の提言と話し合い」は五十嵐さんの司会で評論家・勝又浩さんと中部ペンの伊神権太さんらパネラーの貴重な提言と、会場からの発言が加わり予定時刻に収まらず沸騰した。

第33回中部ペンクラブ文学賞募集

中部圏（注1）の文学の活性化を図るとともに、現代小説に新風を吹き込むことを目的として、創設された文学賞です。同人雑誌、個人誌、単行本に発表された短編小説（注2）を対象としています。インターネット、電子書籍等、電子による発表作品は対象外です。

応募作品発表誌、作者の住所、所属する同人雑誌（注3）作者の活動拠点（注4）の何れか一つが中部圏であれば誰でも応募できます。本人の応募はもちろんですが、同人雑誌の主宰者や代表の方、友人知人から応募していただくこともできます。お声を掛けていただくなど、多方面からより多くの作品を期待しています。（注1）中部圏
 〓愛知 三重、岐阜、滋賀、静岡、長野、福井、石川、富山（2）短編小説
 〓400字詰め原稿用紙換算150枚まで（3）所属する同人雑誌〓必ずしも応募作品発表同人雑誌でなくても、作品発表等活動があればよい（4）作者の文学的活動拠点〓文芸教室、通言行われている合評会の開催地等

応募要項抜粋（詳細は会報75号同封のチラシ）

規定…二〇一八年一月から二〇一九年十二月の二年間に発行された書誌の作品で、連載作品は最終回がこの期間内。単行本の短編集は一作品を指定。応募は一人一作品。中部ペンクラブ会員外の応募者は二千元の出品料が必要。応募用紙…チラシ裏面又はHPあいちウエブ文学館から締切…二〇二〇年一月十五日（当日必着のこと）

表彰…二〇二〇年六月中部ペンクラブ総会、賞状と賞金
 〓一〇万円及び中日新聞社賞状と盾（結果は四月下旬頃、本人と各新聞社に発表）

選考委員…吉田知子 清水良典 三田村博史
 応募宛先…〒471-0026 鈴鹿市岸岡町2626-101 名村和泰

会場の一郭では「中部ペン」をはじめ、地域別に全国の同人雑誌が展示され、坪内逍遙や野間宏の書簡なども置かれた。閉会後は立食パーティーで、会場中が交流会の舞台となり、賑やかに繰り広げられた。（中村）

【次ページへ続く】

池坊東京会館の会場

